

春の思い出 昔話に花が咲く



私、喜寿になりました。歳をとってしまったと思っていたところ、地元留原のグラウンドゴルフの会に誘われ入会しました。メンバーに会ってびっくり、八十歳をとくに越した人ばかり、皆さん背筋がピンと伸びていて若々しい。喜寿はまだまだヒヨッ子! 思わず若返りました。

昨年の忘年会では、今から七十年近く前の川の話で盛り上がりました。一番人気は「カジッカ突き」と「アワコとり」でした。春浅き秋川に行き、素足で川に入り、面(水中面)で川の中をのぞき、突きで石を裏返して中に隠れているカジッカを突きで突き刺して捕るのです。カジッカは串に刺して、おばあさんに囲炉裏で焼いてもらって食べました。食べ物が少ない時代でしたのでごく美味しくかった!

カジッカ突きをしていると、稀に裏返した石にカジッカの卵が付いていました。アワコです! 数の子より少し大粒で、五百円玉より少し大きめの塊です。アワコを見つけた時の喜びは、今の子供たちにはわからない、自分の力で宝物を手に入れた喜びです。アワコの話が出た途端、昔の子供の頃に戻って大興奮しました。同時に興奮した話は、素足で川に入った時の足の冷たかったこと! 少し入っては外に出てを何回か繰り返すうちに足が麻痺してカジッカ突きに夢中になれました。酔うほどに話が盛り上がりすっかり少年時代に戻っていました。もうカジッカやアワコには昔話でしか会うことができません。

春の秋川の思い出話でした。



えのもと しげる
榎本 茂さん (五日市地区)

表紙のことば

ご主人の克佳さんは就農28年目を迎えます。エダマメやニンジン、カブ、トウモロコシなどを中心に栽培し、手間を惜しまず一つ一つ丁寧に育てることで、高い品質を維持しています。

収穫後の選別や袋詰めは奥様の朱美さんが手伝っています。これまで、家事や子育てに専念してきましたが、昨年は鎌での草刈りに初挑戦しました。虫が苦手でもドキドキしながら作業を手伝っているそうです。

3人のお子さんは、野菜作りを身近に感じながら元気に育っています。人気の野菜はトウモロコシ、エダマメ、ニンジンです。ニンジンが大好きな息子さんは、そのままポリポリかじって食べるそうです。娘さんは、エダマメの選別や袋詰めを手伝ってくれていて、克佳さんは「妻が作業する姿を見て覚え、今では完全に同じことができるところになりました。妻と見間違うほどです」と笑顔を見せます。

2匹のネコのモモとトトも大切な家族の一員で、畑をパトロールして、野ネズミから野菜を守ってくれます。

休日をとりにくい仕事ですが、畑や直売所、ホームセンターに子どもと出かけ、共に過ごす時間を大切にしています。克佳さんは「けがなく、家族みんなが健康に過ごせることが一番です」と話しました。



原島さんご夫妻 (日の出地区)

左から▶
あけみ はらしま かつよし
(妻)朱美さん (ご本人)原島 克佳さん
(猫)モモ